

# 子宮頸がん予防ワクチンの接種を希望される人へ

～予防接種に欠かせない情報です。必ずお読みください。～

- ★ 子宮頸がん予防ワクチンは2種類あります。  
特徴が異なりますので詳しくは接種医にご相談ください。

※HPVとはヒトパピローマウイルスのことです。

商品名	サーバリックス	ガーダシル	
特徴	子宮頸がんの原因となる、発がん性HPV 16型、18型の感染を防ぐワクチンです。	子宮頸がんおよび外陰上皮内腫瘍、膣上皮内腫瘍、尖圭コンジローマなどの原因となる、発がん性HPV6型、11型、16型、18型の感染を防ぐワクチンです。	
接種回数	3回	3回	
接種間隔	初回                  2回目                  3回目 ┌──────────┐ 1か月後 └──────────┘ 6か月後	初回                  2回目                  3回目 ┌──────────┐ 2か月後 └──────────┘ 6か月後	
※ただし、3回の接種の途中で妊娠した場合は接種の継続はできません。			
接種方法	腕に0.5ml/回を注射	腕に0.5ml/回を注射	
副反応	10%以上	かゆみ、注射部分の痛み・赤み・はれ、胃腸症状(吐き気、嘔吐、下痢、腹痛)、筋肉の痛み、関節の痛み、頭痛、疲労	注射部分の痛み・赤み・はれ
	1～10%未満	発疹、じんましん、注射部分のしこり、めまい、発熱、上気道感染	発熱、注射部分のかゆみ、出血、不快感、頭痛
	1%未満	注射部分のピリピリ感、ムズムズ感	注射部分のしこり、手足の痛み、筋肉が硬くなる、下痢、腹痛、白血球数増加
	頻度不明	気を失う、息苦しさ、息切れ、動悸など	無力症(上まぶたの下垂、物が重なって見えるなど)、寒気、疲れ、だるさ、血腫、気を失う、体がふらつくめまい、関節の痛み、筋肉痛、おう吐、悪心、リンパ節のはれ・痛み、皮ふ局所の痛みと熱をとまった赤いはれ
<p>○まれに、過敏症反応(アナフィラキシー反応、じんましん、呼吸困難、血管のむくみなど)があらわれることがあります。</p> <p>○またガーダシルでは、まれにギラン・バレー症候群(下から上に向かう両足のまひ)、血小板減少性紫斑病(鼻血、歯ぐきの出血、月経出血の増加など)、急性散在性脳脊髄炎(まひ、知覚障害、運動障害など)があらわれることがあります。</p> <p>※このような症状が疑われた場合は、すぐに主治医にご相談ください。</p>			

ワクチンを接種したあとも、20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受診してください。